

横浜発・海外ビジネス情報【WBC メールマガジン】8月31日号



横浜発・海外ビジネス情報「WBC メールマガジン」
vol.143 (2015年8月31日号) 配信数：
発行：WBC 事業受託者 株式会社パソナ



本メールマガジンは、横浜ワールドビジネスサポートセンター（WBC）事業での各種アンケートで、「配信希望」とご回答いただいた方、ウェブサイトより「配信申込」のお申し込みをいただいた方、各関係機関および企業の方にお送りしております。

CONTENTS -----

- ▼1. <WBC 事務局より> ～お知らせ～
【WBC ホームページを更新しました】

- ▼2. <WBC 事務局より> ～お知らせ～
【WBC Facebook を更新しました】

- ▼3. <横浜市及び WBC 事務局より>
【WBC インキュベートオフィスのご案内】

- ▼4. <WBC 事務局より> ～コラム～
【～パラオの青い海～】

- ▼5. <横浜市より> ～西インド視察団参加者募集のご案内～
【横浜・ムンバイ姉妹都市交流 50 周年、横浜市ムンバイ事務所開設記念 西インド経済・投資環境視察団のご案内】

- ▼6. <横浜市より> ～150 万人の日系ブラジル人ネットワークを活用！ブラジル・ビジネスセミナー参加企業募集のお知らせ～
【《在東京ブラジル総領事館ほか主催》 ブラジル政府機関による講演（ブラジル経済・今後の投資動向） 10/2】

- ▼7. <広報協力> ～IDEC よりお知らせ～

【[10/21～全4回] 貿易実務講座「仕事に活かせる貿易実務講座」のご案内】



1. -----■□■

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

【WBC ホームページを更新しました】

WBC ホームページでは、関係機関で開催されるセミナーやイベントのご案内などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。

<http://www.ywbc.org/>

WBC では無料でビジネス相談を受け付けております。お電話や来訪での相談のほか、インターネットからのお問い合わせも可能です。

↓WBC 海外ビジネス相談はこちらから

<http://www.ywbc.org/cgi-bin/contact2/contact2.cgi?lang=ja>

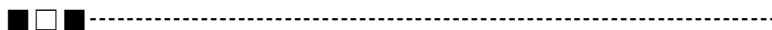
横浜ワールドビジネスサポートセンター (WBC)

横浜市中区新港 2 丁目 2-1 横浜ワールドポーターズ 6F

TEL: 045-222-2030

FAX: 045-222-2088

E-mail : open@ywbc.org



2. -----■□■

<WBC 事務局より> ～お知らせ～

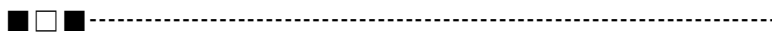
【WBC Facebook を更新しました】

WBC Facebook では日本国内の外国人及び海外へ向けて、英語で情報を発信しています。WBC サービスのご案内、横浜市の概要や特徴、立地企業へのサポート、海外企業向けの最新のお知らせなどを英文で掲載しております。

関連機関の HP のご紹介やイベント情報など、海外からの様々な情報も随時更新しております。

↓WBC Facebook はこちらから

<http://www.facebook.com/YokohamaWBC>



3. -----■□■

<横浜市及びWBC事務局より>

【WBC インキュベートオフィスのご案内】

WBCでは、外資系企業が横浜市内に本格的なオフィスや拠点を構えるまでの「インキュベートオフィス」を提供しています。

このインキュベートオフィスは、横浜に新たに設立された外資系企業（日本法人及び日本支店、駐在員事務所）向けで、入居後3年以上の事業計画があり、WBCを退去後に横浜市内に事業所を設置する見込みがある企業を対象としています。利用期間は3年以内となっています。

WBCに入居している間は、アドバイザーが相談支援を行い、WBCの会議室等を無料でお使いいただけるほか、横浜ワールドポーターズ内のイベントホール等も割引料金で使用可能です。また、WBCの各種媒体（ホームページ・メールマガジン）を企業のPR・お知らせ等でご利用いただけます。

↓WBC インキュベートオフィスの詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.ywbc.org/office.html>

WBC インキュベートオフィスにご興味のある方は下記までご連絡ください。

<お問い合わせ>

横浜市役所 経済局 誘致推進課 WBC 担当

TEL : 045-671-3834

FAX : 045-664-4867

E-mail : ke-wbc@city.yokohama.jp

■□■-----

4. -----■□■

<WBC事務局より> ～コラム～

【～パラオの青い海～】

8月中旬、横浜みなとみらい地区では「踊る？ピカチュウ大量発生チュウ！」というイベントが開かれ、1000匹以上のピカチュウが街中に発生していました。ここWBC事務所のあ
る横浜ワールドポーターズでもピカチュウのフラダンスショーなどが行われ、連日子供た

ちの歓声に包まれていました。ピカチュウは、米国の有力経済誌「フォーブス」でも、2002年に最も稼いだ架空のキャラクターとして世界第8位にランクされていました。今や世界中で最も人気のあるキャラクターの一つです。

一方、同じ季節を70年遡ると、広島、長崎では原爆投下により多くの市民が熱風地獄の中をさまよひ、玉音放送に涙し、混乱の中で終戦を迎えた史実がありました。信じられないような対比ですが、マスコミなどでも盛んに取り上げられ、不戦と鎮魂の祈りに満ちたアツイ8月となったようです。しかし、原爆を目撃し、被災された「語り部」と呼ばれる方々は高齢化し、歴史の風化が懸念されています。

また、今年4月には天皇皇后両陛下がパラオ共和国を訪問され、日米の激戦地であったペリリュー島で日米の戦没者を慰霊されました。悲しみ色をたたえた海の青、空の青が目にしみました。70年前に彼の地で戦死された兵士の方々には、南国の夜空に輝く南十字星を眺める余裕などあったのでしょうか。そして何を祈っておられたことでしょうか。

海の外の陸に小島に

のこる民の

うへ安かれとただいのるなり

(昭和天皇御製)

パラオ共和国は、レメンゲサウ大統領が今年5月に第7回太平洋・島サミットのために来日

するなど、親日国です。面積は屋久島と同じくらいで約488km²、人口は約20,000人です。観光、漁業などが主要産業で、日本からは年間38,000人の観光客が訪れ、マグロなどが日本へ輸出されています。パラオから日本への輸出総額は15億円、日本からパラオへの輸出総額は25億円(それぞれ2013年度)、パラオへの日系進出企業は55社です(2013年10月現在)。

透き通った海は絶好のダイビングスポットとなっており、海中に今も姿を留めるゼロ戦が、日米双方で12,000人も戦死者を出した戦争の凄まじさを物語っているようです。今日も南十字星は人々の営みのうえに許しの慈光を注いでいることでしょう。

(執筆：WBC 所長 前田)

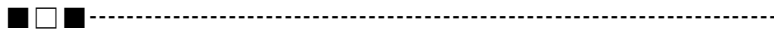
↓参考 URL

<ピカチュウ>横浜市のプレスリリース

<http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000011.000013670.html>

<パラオ共和国>外務省ホームページ

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/palau/>



5. -----■□■

＜横浜市より＞ ～西インド視察団参加者募集のご案内～

【横浜・ムンバイ姉妹都市交流 50 周年、横浜市ムンバイ事務所開設記念 西インド経済・投資環境視察団のご案内】

今年 2015 年は、横浜市とムンバイ市との間で姉妹都市交流が始まって 50 周年目という大きな

節目に当たることから、横浜市ではムンバイに事務所を開設することになりました。この機会をとらえ、インド最大の商業都市「ムンバイ」を訪ね、横浜市ムンバイ事務所開設のセレモニーやセミナーに参加いたします。

また、人口 12 億人を擁するインドは近年、その市場の大きさから新たな投資先としての期待が高まっております。今回の視察団では、ムンバイをはじめとする西インドを中心に、モディ首相のリーダーシップで高い発展を遂げた新興都市「アーメダバード」や海外や地場の自動車メーカーが集積する「プネ」も巡ります。

高い成長を続ける西インドを実際に見聞し、肌で感じていただける絶好の機会ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

◆日程：平成 27 年 11 月 15 日（日）～21 日（土）6 泊 7 日（内、機中 1 泊）

◆旅行代金：298,000 円（大人 1 名様 1 室利用の場合）

※空港諸税・燃油サーチャージ（16,020 円）、査証（ビザ）取得代（8,000 円）等が別途必要です。

◆利用航空会社：エア・インディア（エコノミークラス）

※ビジネスクラス追加料金（130,000 円）

◆利用ホテル：

アーメダバード（コートヤードバイマリOTT）

プネ（ロイヤルオーキッド）

ムンバイ（タージマハルパレス）

◆食事条件：朝食 5 回、昼食 5 回、夕食 4 回

※機内食は除く

◆募集人数：20 名（最少催行人員 15 名）

◆申込締切：平成 27 年 9 月 25 日（金）

※査証（ビザ）取得に時間を要するため、お早目にお申し込みください。

↓詳細・参加申込・資料請求はこちら

<http://www.yokohama-cci.or.jp/news/assets/pdf/151115-indiamission.pdf>

<お問い合わせ>

横浜商工会議所

国際部 中田

TEL : 045-671-7406

FAX : 045-671-7410

■ □ ■ -----

6. ----- ■ □ ■

<横浜市より> ~150万人の日系ブラジル人ネットワークを活用！ブラジル・ビジネスセミナー参加企業募集のお知らせ～

【《在東京ブラジル総領事館ほか主催》 ブラジル政府機関による講演（ブラジル経済・今後の投資動向） 10/2】

この度、日系ブラジル人が多く居住する横浜市鶴見区において、日ブラジル外交樹立 120 周年記念イベント「ブラジル WEEK in つるみ」が開催されます。（9/28～10/4）

同イベントに合わせて、ブラジル、アメリカ、日本のブラジル企業家の皆さまが来浜される機会を捉え、「ブラジル・ビジネス協議会セミナー」を開催いたします。

ブラジルへの進出や事業展開を検討されている企業の方は、ぜひお気軽にご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

詳細は、下記ホームページをご参照ください。（内容は随時更新されます。）

◆開催日時：平成 27 年 10 月 2 日（金）14:00～17:30（開場 13:30）

◆開催場所：鶴見中央コミュニティハウス JR 鶴見駅東口徒歩 1 分
（横浜市鶴見区鶴見中央 1-31-2 シークレイン 2 階）

◆参加費：無料（第 1 部） / 1,500 円（第 2 部）

◆内 容：

(1)在東京ブラジル総領事挨拶

(2)ブラジル政府機関担当者による講演

(3)在米/在日ブラジル人企業家によるビジネス事例紹介

(4)名刺交換会、交流会ほか

◆定 員：30 名

◆対 象：不問（市外企業の皆様もご参加いただけます）

◆申込締切：平成 27 年 9 月 25 日（金）

◆実施期間：平成 27 年 10 月 2 日（金）14:00～

↓詳細・お申込み方法はこちら

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/kanko/event/brasil.html>

<お問い合わせ>

横浜市鶴見区地域振興課

藤巻・池

TEL : 045-510-1691

FAX : 045-510-1892

Email : tr-brazil@city.yokohama.jp

■ □ ■ -----

7. ----- ■ □ ■

<広報協力> ~IDEC よりお知らせ~

【[10/21~全4回] 貿易実務講座「仕事に活かせる貿易実務講座」のご案内】

貿易実務の方法と最新の貿易業務の話題をベテラン講師が分かりやすく提供します。

企業の人材育成や個々のスキルアップにぜひご活用ください。

本事業は横浜市内国際経済関連4団体（横浜企業経営支援財団、横浜市経済局、横浜商工会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)横浜貿易情報センター）の連携事業として行います。

★受講のメリット★

- ・貿易実務担当初級者が、貿易書類を作れるようになる。
- ・貿易実務担当中級者が、日常業務全体における1つ1つの業務の役割を正確に理解できるようになる。
- ・最新の話題から日々の業務に問題意識・テーマをもって取り組めるようになる。

◆日時：平成27年10月21日（水）、28日（水）、11月18日（水）、27日（金）
各回14：00～16：30（初日の10月21日(水)のみ、終了後に1時間程度の
名刺交換会を予定しています。）

◆会場：横浜メディアビジネスセンター7階 大会議室
（関内駅、馬車道駅徒歩6分）

<http://www.idec.or.jp/map.php>

◆参加費：市内企業1名につき10,000円／市外企業1名につき20,000円
（全4回・事前銀行振込）

※ 参加申込みを頂いた方に、メールにてお振込先の口座をご案内いたします。

◆内容：

講師 櫻井 正文氏（AIBA 認定貿易アドバイザー、横浜ビジネスエキスパート）

第1回 10月21日(水) 「貿易実務の全体像と実務でおさえるべきポイント」

「見積と売買契約書の作成方法と留意点」

※講演終了後、1時間程度の交流会を実施予定

第2回 10月28日(水) 「通関・船積みと代金決済（コスト計算演習）」

第3回 11月18日(水) 「売買契約書における一般取引条件」「各種契約書の留意点」

第4回 11月27日(金) 「海外販路開拓～我国の輸出規制～」

◆定員：40人（定員になり次第締め切らせていただきます）

◆申込締切：平成27年10月19日（月）

↓詳細・お申込みはこちら

<http://www.idec.or.jp/seminar/detail.php?pid=693>

<お問い合わせ>

（公財）横浜企業経営支援財団

国際ビジネス支援部

TEL：045-225-3730

FAX：045-225-3737

E-mail：global@idec.or.jp

■ □ ■ -----